

帝キネ現代映畫

脚色者 志摩 沙良夫氏
監督者 松本 英一氏
撮影者 谷口 禎氏

主要役割

鑛山監督佐原 藤間 林太郎氏
情婦お春 歌川 八重子嬢
若き坑夫寛次 里見 明氏
情婦 二條 玉子嬢
醫者 青木 芳美氏
寛次の妻章子 鈴木 信子嬢



寫「閣の光」帝キネ松本英一氏作品。右より歌川八重子嬢と藤間林太郎氏

坑夫江川 小島 洋々氏
新しき監督 濱田 格氏

解説——「乳姉妹」について松本英一氏が監督製作した現代劇である。
略筋——鑛山監督佐原と情婦お春の爲めに鑛山に働く坑夫達は常に苦しめられてゐた。寛次も江川も佐原の鞭の下に働いてゐたが荒み切つた坑夫達の中にも寛次は妻章子の優しい慰めで心はいつとも暗れやかであつた。或時襲ひ來つた悪性病の爲めに坑夫達は病める妻子達の救ひを求めたが冷酷な佐原達は聞かぬともしなかつた。しかし章子の眞心は遂にお春を動かしてやがて病に苦しむ人々を救ふのであつた。旅先から歸つて來た佐原もお春の願ひに依り苛酷な鞭を捨てた。其時佐原は解雇の辭令を渡されて了つた。新しい監督、それはお春を捨て、去つた前の情夫であつた。佐原とお春は鑛山を去るこゝまゝなつた。寛次夫婦は縁き貯めた金を二人に與へて涙乍らに見送るのであつた。